

# 川崎の男女共同社会を **すすめる会通信** No.188

●連絡先 藤井光子 [hymico@me.com](mailto:hymico@me.com) ☎&FAX 044-944-7872 ●発行日2018年 2月1日  
〒214-0003 川崎市多摩区菅稲田堤3-8-2-503 ●HP <http://web-k2.jp/ssk1985/>

新しい年が始まり、早くも1ヶ月がすぎました。みなさまお元気にお過ごしでしょうか。政府は働き方改革を声高に叫んでいますが、その割には女性たちが安心して働き続けられる保育園も賃金などの処遇もちっとも改善されていません。2017年11月に発表されたジェンダーギャップ指数、日本は世界144カ国中114位となり、過去最低だった前年の111位から更に後退。今年もすすめる会はジェンダーの視点の活動に取り組みます。宜しくお祈いします。今年も幹事改選の年。ご一緒に活動してください。ぜひお知らせください。 **幹事募集!**

## 2018年度 第35回総会のご案内

日時 4月21日(土) 13:30~16:00  
場所 高津市民館 第5会議室

### 第1部 第1部 総会

- ・2017年度 活動報告/活動のまとめ  
会計報告/会計監査報告
- ・2018年度 活動計画案/予算案など  
幹事改選

### 第2部 お話 講師交集中



## こえん楽市◀すすめる会は、今年もパネル展示参加します!

**2/12(月・祝) 10時~16時** 中原市民館・市民活動センター  
昨年は100を超える出展、1700名参加。市民活動を知り合うイベントがいっぱい。スタンプラリーやフリーマーケットも好評。ぜひお立寄りください。

## 1/14 第4期川崎市男女平等推進行動計画(案) 説明会に参加

▶パブコメのデータに基づいた市民意識調査によると、理念の理解は進んでいるが、現状は厳しく改善にされているのはわずかという現状が説明された。人権男女共同参画室による説明だが、聴く人は5人だけで残念でした。

## ▶H29年度「男女平等かわさきフォーラム」のご案内 →チラシ

川崎市とかわさき男女共同参画ネットワークが主催するフォーラムです。講師は、子育て真っ最中の若手女流の落語家、春風亭鹿の子さん。入場無料



## シンポジウム ◆ 神奈川から発信! 女性の働きやすさ”改革”

主催: かながわ女性会議 **2月24日(土) 13:30~16:40**

会場: かなテラス (神奈川県立かながわ男女共同参画センター) 活動支援室

◆第1部 13:30~16:00 (第2部16:10~ 相談コーナー)

ミニ講演 「働き方改革と女性労働…神奈川から見る」

シンポジウム 「みんなで話そう! 私にとっての働きやすさって!」

- ▶女性の働きやすさとは ▶M字カーブを経験して ▶出産退職を乗り越えて
- ▶就業支援に携わって ▶男性にとってのワーク・ライフ・バランス



## 新たな提訴

# 夫婦別姓求め夫が提訴 「姓変更、仕事にストレス」

IT会社社長

1月9日、東京地方裁判所に東京に本社のある男性の会社社長ら4人が、結婚後もそれぞれの姓を名乗ることが出来る「選択的夫婦別姓」を認めていない戸籍法の不備で、精神的苦痛を受けたとして、国に損害賠償を求める訴訟を起こしました。原告は妻の姓に変更し旧姓使用をしている会社社長と、関東に住む旧姓使用の女性、東京在住で事実婚の男女です。

これまでの判例は、最高裁判所が2015年12月に夫婦同姓を定めた民法の規定は合憲と判断しました。今回の訴訟は、民法ではなく、戸籍法の違憲性を問う内容です。

### 戸籍法に基づく姓の変更の可否を選択できるのは

外国人と結婚した日本人は原則として姓の変更はありませんが、戸籍法に基づく届け出をすれば相手の姓を名乗れます。離婚後も旧姓に変更できます。日本人同士の離婚では、結婚時の姓を継続使用できると戸籍法は認めています。

原告代理人の作花知志弁護士は「日本人同士の結婚で別姓が選べないのは法の下での平等に反する」と主張している。

## 最高裁判事で初の旧姓使用

### 宮崎氏「選択肢が重要」

弁護士出身の宮崎裕子氏(66)と、前東京高裁長官の深山(みやま)卓也氏(63)が9日、最高裁判事に就任し、宮崎氏は同日の記者会見で、最高裁判事として初めて結婚前の旧姓を使用することを明らかにし「今まで弁護士としても使っていたのだから、旧姓使用は当然のことだ」と語った。

宮崎氏は「私は選択的別姓なら問題ないのではないかと思う。価値観が多様化する中、可能な限り選択肢を用意するのが重要だ」との考えを示した。最高裁は2015年、夫婦同姓を強制する民法の規定を合憲と判断している。

最高裁は昨年9月から従来の運用を改め、全国の裁判所が作成する判決や決定など裁判文書で、裁判官や書記官の旧姓使用を認めた。

宮崎氏は会見で、この制度変更について「遅きに失した」と批判した。(2018年1月10日 東京新聞)

●すすめる会では「選択的夫婦別姓」をどう考えるかの問題を、すくらむまつり、市民活動センターでの「ごえん楽市」等で継続的にシール投票を行っています。

## 原告の青野さんへのインタビュー こんなにある改姓の不便

BUZZFEED NEWSより

### ▶結婚後の手続き

- ・銀行口座、クレジットカード、パスポート、免許証、健康保険証、マイレージカード(旧姓から結婚後の姓に変えないとマイレージがつかない)、病院の診察券などを旧姓から結婚後の姓に変更。
- ・結婚後の姓の印鑑の作成
- ・旧姓で作った銀行口座を解約するのに戸籍謄本が必要。

### ▶戸籍姓と通称の使い分け

- ・公式書類は戸籍法上の姓(結婚後の姓)を使う必要がある。
- ・マイレージカードやパスポートに合わせて飛行機やホテルの予約は結婚後の姓で取らないといけない。もし海外出張で通称で予約を取ると、ホテルのフロントで確認に伴うトラブルが発生することが多い。
- ・通称としての旧姓を使用すると、飛行機でマイレージがつかないなどの不利益が生じる。
- ・子どもの父母会などでは結婚後の姓を使うが、仕事で関係のある人からは通称としての旧姓で呼ばれることもあり、周囲が混乱する。
- ・結婚式の案内状や年賀状を通称としての旧姓と結婚後の姓のどちらで出すか、周囲も自分も気を遣う。
- ・病院では結婚後の姓で呼ばれ、違和感を感じる。

### ▶通称の限界

- ・所有していた株式の名義を結婚後の姓に変更し、費用が発生した。
- ・会社の登記を結婚後の姓に変更。
- ・決算短信などの公式文書はすべて「西端」で書いていた。
- ・株主総会の案内を見た株主が「西端って誰だ?」と混乱することがあった。
- ・旧姓を通称使用していることを知らない投資家から「サイボウズは社長が株式をまったく持っていない」と今でも誤解されることがある。

(青野さん 談)

## 呉 紹斌（ショウヒン）さんとの出会い②

川崎の公害問題を研究テーマにしている中国からの留学生の呉さんと、12月10日に会いました。呉さんの故郷、蘭州も公害問題が深刻です。懇談後に頂いたメールと、勝又さんの原稿をご紹介します。

「昨日は4名の方から貴重なお話をいただき、勝又さんにも実体験原稿をいただき、すごく私の研究に役立ちました。僕の研究にすごく役に立つ手がかりを書いていただいたて、なんとお礼を言えればいいか分かりません。本当にありがとう！こんなに熱心に接していただき、研究の方をもっと頑張らなければと思いました！教えていただいた「市政報知」についてですが、すごく役に立つ昔の記事が載っているかもしれないと思っています。皆さんのおかげで、色々な新しい情報が入手できて、たいへん助かりました。」（呉）

## 大気汚染 私の体験

勝又千鶴



### 1959年東京の空

1959年3月、私は九州の福岡市から東京都港区虎ノ門に就職するため転居してきました。

国家公務員共済組合虎ノ門病院は1958年に開院していました。その年の就職者は地方の看護学校卒業の新卒者が100名くらい就職しました。前年の開院時も新卒者が多く年配者は婦長だけで、主任も若かったです。私は1年間7階の外科病棟で働きましたが、翌年1960年に保健婦の学校（神奈川県立公衆衛生看護学院）に入学しました。就学期間は1年間で1961年4月には保健師（旧保健婦）として、川崎市の中央保健所（川崎市市役所の近く）に就職しました。担当地区は大師地区で浮島の近くの殿町地域でした。川崎の臨海部は埋め立て地で当時石油化学コンビナートが操業始めていました。

① 東京港区虎ノ門に住んで一番感じたことは、明日の天気が全然予測できないことでした。空は曇ったような感じでいわゆる灰色で、太陽が当たるのも少なく、青空はなく、私が生活してきた九州や四国では普通は夕方になると明日は晴れか曇るか予測できるのですが、それが出来ませんでした。大気汚染がそれほどひどかったのだと思います。このことに一番驚きました。

② 同じ年に就職した同僚の中で、ひどい咳をする人がいました。気管が弱く、空気が悪かったため痰や咳が出たのだと思います。

### 1960年代 川崎中央保健所での大気汚染の印象

③ 家庭訪問で外にでるのですが、その頃化繊の下着が出はじめ、スカートの下に着るスリッパでした。家庭訪問をすると裾の方が直ぐ真っ黒になってしまい、何度も買い換えないとはいけませんでした。

④ 訪問途中の道路では、空からキラキラ光るのが落ちてきて、近隣の住民の方はナフタリンじゃないかと言っていました。また蒸気のようなガスがすごい勢いで工場から排出され、逃げて走ったことなどもあります。

⑤ 同僚の1人は家庭訪問から帰ってくると目の中に異物が入り、眼科受信すると鉄粉だと言われました。その人は何回も目に入り眼科受診していました。私は鉄粉が目の中に入ったことはありません。

### 生ワクチン投与の時に

1961年ポリオの生ワクチンがソ連から急遽輸入されて、5月から一斉に小学校で投与（4個班～3個班で毎日投与）が始まりました。その頃は冷房もなく暑かったので、教室の窓を開けて、生ワクチンをスプーンに入れる準備をしていました。

⑥ 桜本小学校（田島地区で大気汚染がひどく、洗濯物を外に干せないと言われていました）の時は、トレーの上に滅菌ガーゼを敷きその上に消毒したスプーンを並べ、そのスプーンの中に生ワクチンの液を入れて準備していると、煤塵がスプーンの中に入りました。スプーンの上に滅菌ガーゼをのせて防ぐと、ガーゼの上にまた煤塵がたまり、生ワクチンの液がガーゼにしみ出し苦勞した記憶があります。

### 家庭訪問から帰ってきて夕方になると

⑦ 若い私たちみんなが頭痛を訴えました。仕事になれないためか？体調不良か？明日は休まないといけないか？など話していました。

家に帰り夜になると頭痛はおさまり、翌日は仕事に行けました。後で考えると光化学スモッグによる体調不良であったものと思われます。まだそのころは光化学スモッグのことは分っていませんでした。

私はアレルギー体質があるようで、今(81歳)ほこりなどで咳が出やすく、暖房や空調のほこりが出ると直ぐ咳や痰がでます。空気の汚れに敏感になっています。これも大気汚染等による後遺症だと思います。

孫が言います。おばあちゃんは川崎にいと良く咳が出るのに、四国の今治や松山に来ると全然咳がでないねと。毎年夏に孫を連れて今治や松山へ行くとそこでは殆ど咳が出ません。

まだまだ川崎の大気汚染もよくなっていないと思います。

## 女性ニュース

### ・女性記者犠牲 大幅増

報道の権利擁護を訴える国際団体「プレス・エンブレム・キャンペーン」(PEC 本部ジュネーブ)は、12月18日に2017年1年間に世界の紛争地などで命を落とした女性ジャーナリストは16人で、前年の5人から大幅に増加した。報道関係者全体では今年97人が死亡した。約2/3が意図的に標的にされ、他は爆発物や砲火の犠牲でした。「より多くの女性ジャーナリストが危険な状況で仕事をするようになったことが増大の理由のようだ」PECは説明した。

タクスヘイブン(租税回避地)利用の実態を記載した「パナマ文書」疑惑を報道したマルタの女性記者ダフネ・カルアナガリチアさんも10月に爆弾で殺害された。

### ・男女賃金差別を違法化

アイスランドは1月1日、男性に女性よりも高い賃金を支払うことを違法とする最初の国となった。他国もこれに続くべきだとの声が上がっているとロイター通信が報じている。

アイスランドで執行された法律は、従業員が25人を超える事業所・政府機関について、男女の賃金が平等であると政府から認定を受けなければ、罰金を科すとしている。これは、2020年までに男女の賃金格差を根絶するという北欧諸国による試みの一環。同国は議員の38%が女性で世界平均を上回っており、アイスランドのヤコブスドッティル首相も女性です。

世界経済フォーラム(WEF)は今年の発表の報告で、女性の賃金は男性の42%にとどまっていると指摘。男女が同賃金、職場の役職で同比率となるまで217年かかるとの見通しを示した。

### ・「男女共同参画課」課名 残る

文部科学省は、「男女共同参画」の名称をなくす予定でしたが、国際婦人年連絡会などの女性団体、生涯教育の研究者らが、再編の見直しや名称の存続を要望し、衆院文部科学委員会で畑野君枝議員も存続を求めた。

男女共同参画を推進するための教育・学習の充実などを掲げてきた男女共同参画学習課の名称を「男女共同参画・共生社会学習推進課」として残すことが12月末に畑野議員に説明された。

### ・女子の制服スラックスもOK

平塚市立大洋中学校は2018年度から制服を一新し、女子ではスカートとスラックスを採用する。どちらかが主ではなく、自由に選べる同列の扱いとする。同市内の公立中学では初めての導入だ。

スラックスは冬場の防寒用としての採用される事例はあるが、スカートと同列にスラックスを位置づけるのは珍しく制服メーカーも「女子生徒のスラックスにここまで重きを置いた例は聞いたことが無い」と注目している。

### ・日本の職場「不平等」40%

日本の企業に働くホワイトカラーの外国人の約40%が、性別や国籍による差別を感じていることが、民間人材会社の調査でわかった。昨年10月アデコが日本の企業や団体に常勤職員として働くホワイトカラーの外国籍男女300人を対象にインターネットで実施した。

現在の就労環境に77%が「満足している」と回答。日本企業の好ましくない点を複数回答で尋ねたところ、43%が「男女の扱いが不平等」39%が「外国人差別がある」と答えた。

日本人の働き方では80%が「仕事の精度が高い」と評価。一方で72%が「無駄な会議が多い」と指摘。

少子化で外国人材の重要性がますます高まり、多様性を認める職場づくりや労働の効率化が進んでいないことが浮き彫りになった。

## これからの活動

2月12日(月・祭)ご縁楽市参加

## 活動日誌

12月20日通信印刷・発送

1月10日(水) 幹事会 10:00～ すくらむ21

1月13日(土)第4期川崎市男女推進行動計画(案)説明会参加 15:30～ すくらむ21

1月22日(月)ワーカーズネット運営委員会 18:30～てくのかわさき

1月24日(水) 幹事会 14:00～ すくらむ21